

みっかいち

三日市地区

(富山県黒部市)

- 計画期間 平成17年度～平成21年度
- 面積 745ha
- 交付対象事業費 1,091百万円
- 市人口 40,361人

ポイント

「名水の里 住みよい黒部」にふさわしい中心市街地の創造

地区概要

区画整理事業等の基幹事業と併せ防犯灯や消火栓の整備により、安全・安心なまちづくりを図る。

目標 都市基盤及び市街地環境が整備された「名水の里 住みよい黒部」にふさわしい中心市街地の創造

指標

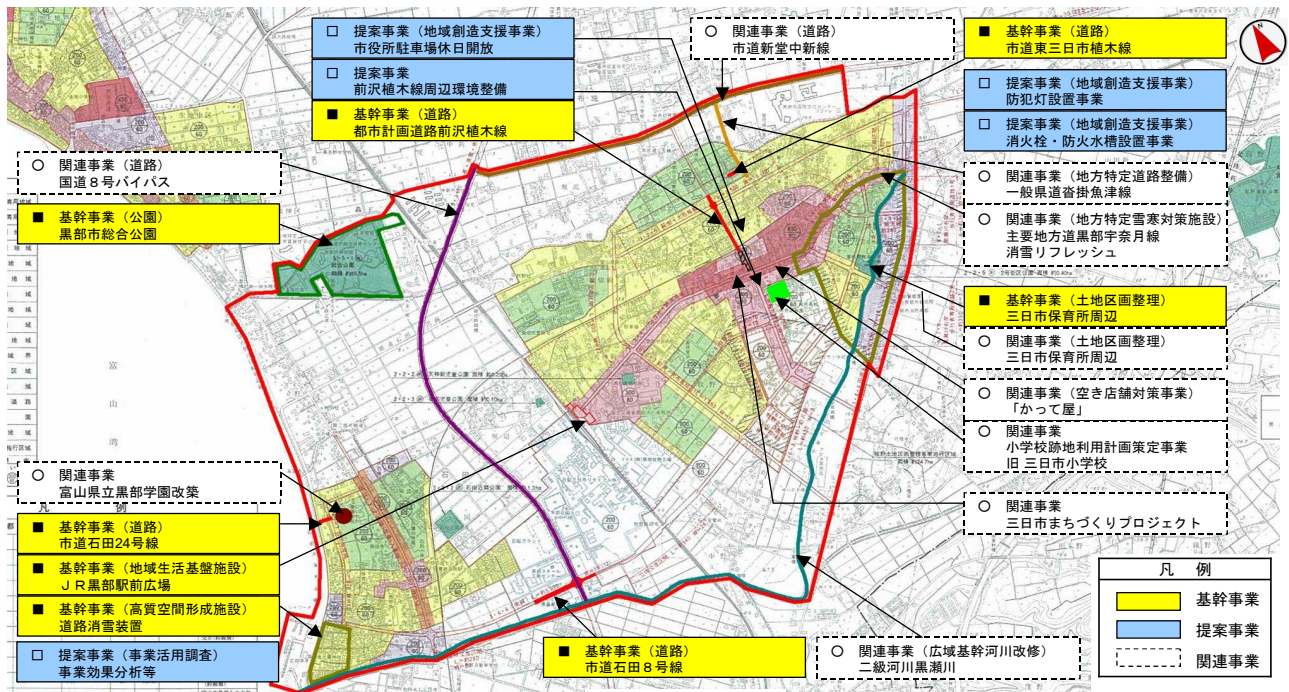
住環境の整備や中心商店街での市民参加のイベントを開催することにより賑わいを取り戻す。

対象地区の居住人口	12,613人 (H16) → 12,613人 (H21)
イベントの参加人数	6,000人 (H16) → 12,000人 (H21)
歩道の歩行者数	1,000人 (H16) → 1,500人 (H21)

事業内容

基幹事業 (1,011百万円) → 道路 (W=6~16m L=740m)、駅前広場 (6,500㎡)、黒部市総合公園 (3,900㎡)、土地区画整理事業 (31.3ha)、道路消雪施設 (15ha)

提案事業 (80百万円) → 防犯灯 (50灯)、消火栓 (5基)、防火水槽 (1槽)、市役所駐車場休日解放、(都) 前沢植木線周辺環境整備、事業効果分析等



地区の現況と課題

三日市地区は、JR・私鉄・バスなどの公共交通機関の結節点であると共に、学校や救急病院、大型ショッピングセンター、市役所・市民会館等施設が集結し、市の中心市街地の役割を果たしている。市街地整備が進行している中、周辺部の地区においては接道条件が悪く、有効的な土地活用がなされていない。

平成20年度においてボトルネックになっていた富山地方鉄道寺町第二踏切の拡幅工事を実施し、交通渋滞解消に努めている。しかし、依然、道路幅員が狭く通行車両のすれ違い時には、小学生などの歩行者が車両に巻き込まれそうになるなど危険な状態にある。

地区内を活動の基盤とするNPO法人黒部まちづくり協議会が、先行して整備が行われた都市計画道路前沢植木線（愛称：市姫通り）にて地域活性化イベント「やってみっか市」が開催されており、多数の来客を集めている。

提案事業の特徴

前沢植木線周辺環境整備

都市計画道路前沢植木線沿線の都市景観に配慮し、先行整備した市姫通りと連続した景観を作り出すとともに、近隣の三日市共同墓地の緑地に緑地帯を設置し遮蔽した。また、イベント会場に隣接して公共用トイレやポケットパークを設置し、イベント時・通常時の沿線の利便性の向上を図った。

市役所駐車場休日解放

中心市街地の商店街には駐車場スペースが不足しており、また休日に開催される地域活性化イベント「やってみっか市」に来場しやすいよう、休日には使用していない市役所駐車場を開放するため、市街地中心部へのアクセス通路等を整備した。

防犯灯・消火栓・防火水槽設置

住宅密集地における防犯・防火対策のため地区内に防犯灯・消火栓・防火水槽を設置し、安全なまちづくりを目指す。

計画策定プロセス

NPO法人黒部まちづくり協議会

三日市・JR黒部駅前ワークショップ

NPO法人黒部まちづくり協議会が6つのワークショップを構成して、市民一人ひとりから始めるまちづくりの活動を展開している。その中でも、地区内を活動の基盤とする「三日市ワークショップ」「JR黒部駅前ワークショップ」ではメンバーが主体となって意見を交わし、当該施設の整備や今後の都市整備に加え、地域の活性化や公共施設の維持管理を含めた協議を行っている。

▼ 整備前の黒部駅前



▲ 整備後の黒部駅前



▲ 三日市保育所周辺土地整理事業

▼ 整備前の富山地方鉄道寺町第二踏切



整備後の富山地方鉄道寺町第二踏切 ▲



▲ NPO法人黒部まちづくり協議会

「やってみっか市」の様子